

国語 第2学年 あなのやくわりを考えよう

検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：物にある穴とその役割の読み、自分が見ていた物の見方がどう変わったかを伝える。穴の場所を見付け、その役割が文章でどう説明されているかを確かめる。C(1)オ・C(1)カの学習として、穴の役割と感想のカード。本文での説明、自分が見た経験、見方が変わった所、まだ確かめたいことを書く。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、穴の役割の説明と自分の経験を結び付けて感想をもち、友達と共有しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)オ・C(1)カの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：穴の役割と感想のカードを残す。本文での説明、自分が見た経験、見方が変わった所、まだ確かめたいことを書く。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)オ・C(1)カに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：身の回りの穴の役割を全て推測だけで断定する。役割の説明を名称と取り違える。これについて、「物」「穴の場所」「本文で説明された役割」「自分が思ったこと」を分ける。実物を見る場合も使い方や安全を確かめ、分解や改造は活動に含めない。〔知識及び技能〕(1)アとC(1)オ・C(1)カを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「穴の役割を読んで、前に見た物の見え方はどう変わりましたか。本文のどの説明から考えましたか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)オ・C(1)カに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：穴の役割と感想のカードは紙に記録できる。本文での説明、自分が見た経験、見方が変わった所、まだ確かめたいことを書く。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)オ・C(1)カの評価の代わりにならない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は東京書籍の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)オ・C(1)カで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：身の回りの穴の役割を全部調べるのか。

返し：C(1)オ・カでは読んだ内容と経験を結び付ける。調べ切れない役割は疑問として残し、本文に書かれたことと自分の予想を区別する。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「穴の役割を読んで、前に見た物の見え方はどう変わりましたか。本文のどの説明から考えましたか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)オ・C(1)カに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

